雑説

あらすじ 次の空欄に適語を入れて、内容を整理しなさい。

第一段	第二段	第三段	第四段	第五段
千里を走る〔①　　〕は、〔②　　〕によって見いだされる。〔②〕はいつもいるとは限らないために、〔①〕と分からず〔③　　〕な馬並みに扱われ、能力を発揮せず死んでいく。	また、飼い主は〔①〕を、その能力を知らずに飼っている。	そればかりか、〔③〕な馬と同じ程度の力すら出すことができなくなる。	それなのに、〔①〕を見分ける力のない飼い主は、「〔①〕がいない。」と嘆く。	〔④　　〕は嘆息する。名馬がいないのではなく、名馬を〔⑤　　〕のではないかと。

重要語句 次の語句の読みと意味を答えなさい。ただし、読みは送り仮名も含めて現代仮名遣いで答えること。

(1) 雖モ（一五八・2）

(2) 食フ（一五八・4）

(3) 見ル（一五八・7）

重要句形 次の文を書き下し文に改めなさい。

(1) 伯楽不二常有一。（一五八・2）

(2) 雖レ有二名馬一（一五八・2）

(3) 祇ダ辱メラレ二於奴隷人之手一（一五八・2〜3）

(4) 不下以二千里一称上也。（一五八・3）

(5) 安求二其能千里一也。（一五八・7〜8）

(6) 嗚呼、其真無レ馬邪、其真不レ知レ馬也。（一五九・3）

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1 次の文は、「世有二伯楽一、然後有二千里馬一。」（一五八・1）の意味をまとめたものである。空欄にあてはまる語句を補って文を完成させなさい。

世の中には［A］の良否をよく見分ける［B］がいて、そうして初めて一日［C］を走る［D］が見つけられるのである。

2 「伯楽不二常有一。」（一五八・2）を、句形に注意して現代語訳しなさい。

3 「辱二於奴隷人之手一。」（一五八・2〜3）とあるが、ここでの「於」と同じ働きのものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 霜葉紅二於二月花一。
イ 後則制二於人一。
ウ 有二美玉於斯一。
エ 苛政猛二於虎一。

4 「天下無レ馬。」（一五九・2）とあるが、この「馬」とはどのような馬か。本文中から**二字**で抜き出しなさい。

5 「其道」（一五九・1）の意味として適当なものを、次の中から**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 普通の馬を見つけるのにふさわしいやり方。
イ 普通の馬を扱うのにふさわしいやり方。
ウ 名馬を見つけるのにふさわしいやり方。
エ 名馬を扱うのにふさわしいやり方。

6 「嗚呼、其真無レ馬邪、其真不レ知レ馬也。」（一五九・3）とあるが、この一文における作者の真意はどちらにあるか。適切なほうを選びなさい。

ア 名馬がいない。
イ 名馬であることを知らない。

7 「優れた人材が埋もれたまま死んでいくこと」をたとえた言葉を、本文中から**二字**で抜き出しなさい。

8 この話で、作者が批判したかったものは何か。適当なものを、次の中から**全て**選んで記号で答えなさい。

ア 有能な人材を認めて登用することをしない高級官僚。
イ 誰でも採用されてしまう官僚制度。
ウ 従来のままの政治構造。
エ 血族は出世させないという人事制度。